



発行責任者 校長 田中 敏則



よくまなび よくあそび
～ 人生を拓く力の育成 ～
ま な び いっぱい
やさしさ いっぱい
げ ん き いっぱい

人は「さようなら」の数だけ愛を知る

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といいます。正月から3月までは行事が多く、月日が足早に過ぎてしまうことをいったものです。コロナの影響もあり、なくなった行事もあるのですが、いつも通りではないからか、むしろ例年より忙しいと感じてしまいます。

いよいよ今年度のまとめとなる3月を迎えます。子どもたちの成長には、一人一人の頑張りと努力が、そして、それを支えてくださったたくさんの人の励ましがあったことと思います。是非、ご家庭でも、卒業や進級を前に1年間を振り返り、お子様の成長と一緒に喜んでください。また、子どもたちには、一日一日を大切にして、クラスの友だちや先生と、多くの思い出をつくってほしいと思います。



そして、3月はお別れの月でもあります。

映画監督の故・大林宣彦さんが、映画の中でいつも使う別れの言葉は、「ありがとう」「ごめんなさい」「さようなら」だそうです。

「ありがとう」とは、二人を出会わせてくれた運命と、ぼくに会ってくれたあなたへの感謝。「ごめんなさい」はそのあなたにもらったものの大きさに對して、ぼくがあげることのできなかった多くの事についての申し訳なさ。そして最後には、礼儀正しく「さようなら」。人は「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなり、「さようなら」の数だけ愛を知るのだそうです。

大洲小の教育目標は「よくまなび よくあそび」ですが、この1年間、教室や校庭では、毎日のように「わかった」「できた」とともに「まだわからない」「もう少し」が響き渡りました。行事や遊びの中では、時にはケンカやトラブルもありましたが、たくさんの「ありがとう」とともに「ごめんなさい」が聞こえてきました。



私たちはとにかく成功体験に目が行きがちですが、実は、失敗の中から学ぶこともあります。むしろその方が多いのかもしれませんが。学校では、価値観や性格が違う子どもたちと共に活動します。そのような環境や集団での生活を通し、子どもたちは、「ありがとう」の数だけ賢くなり、「ごめんなさい」の数だけ優しくなったと思います。

さて、3月は、たくさんの「さようなら」もあります。子どもたちは、その数だけの愛を知ることができるでしょうか。



18日には、87名の6年生が卒業します。卒業生と保護者の皆様に心からお祝い申し上げるとともに、子どもたちへの指導・支援に関わってくださった多くの方々へ厚くお礼申し上げます。また、他の学年の子どもたちも1年間の総まとめに取り組んでおります。進学・進級への大切な残りの日々、変わらぬご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

学校関係者評価（学校運営協議会）

学校運営協議会委員による学校評価を行いました。ご意見の概要をお知らせします。

確かな学力

- 高学年での教科担任制の導入は、授業の工夫改善にもつながりいいと思う。子どもたちも気持ちの切り替えができるようで評価できる。指導者同士の連携を密にし、児童の実態に即したきめ細かな指導に生かしてほしい。
- 算数の少人数指導は、クラス全体の授業より、個に応じた指導が期待できる。理解しやすくなる形態だと思う。
- 全学年で、学力向上を目指した教育を実施され、成果が出ている。
- タブレットの活用で、「自ら進んで調べる」姿勢や、調べたいと思う意欲が高くなったのではないのでしょうか。
- わかりやすい授業をするため、国語科の授業研究等に取り組んでいる。成果も上がっているようでありがたい。

豊かな心

- 仲良く下校する姿を拝見し、友だち同士が優しく関わっていることを嬉しく思う。
- 人権意識の醸成を図る継続的な指導が、「人権教室」や「人権標語」などに表れている。
- 「学校に行くことが楽しみ」「いじめはいけないと理解している」「誰とでも優しく関わることができる」等、保護者の大半が認めていることは評価できる。
- 豊かな心を育むため、コロナ禍の中でも校外学習や体験学習を効果的に実施できたことはよかった。
- 音楽会で、子どもたちが歌と演奏を楽しむ姿を拝見し、心の豊かさを感じた。
- 道で子どもたちに会って挨拶をすると、しっかりと返してくれる。

健やかな体

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に細心の注意を払いながら、適切な指導がなされている。
- 衛生、安全に留意し、体力づくりを進めている。保護者アンケートでも肯定的な回答が多く、十分達成できていると判断する。
- 校庭で、子どもたちが元気に楽しそうに走り回っている様子を見ると、嬉しくなる。
- 小さい頃の運動は、学力向上にも関係すると聞いています。
- 制限された学校生活の中でも、子どもたちは頑張っていると思う。
- 体育専科の先生がいるとよい。
- 寒い中、ドッジボール大会などを企画してくれてありがたい。

信頼される学校

- 「学校は、保護者の思いや願いについて適切に対応している」等の肯定的な回答が高いことは、コロナ禍の中、児童に寄り添い温かく受け止めて接している姿の表れであると推測できる。
- 毎日、HPに児童の活動や授業の様子を発信するなど、開かれた学校づくりを推進している。
- 地域活動や行事が殆どできない中でも、地域人材やボランティアを活用し、地域との交流を進めていた。
- これからもいろいろな形で、学校・保護者・地域で子どもたちを支えあう学校であってほしい。
- 学校だよりは読みやすく、自治会でも紹介させていただいている。学校経営方針にも感銘を受けている。